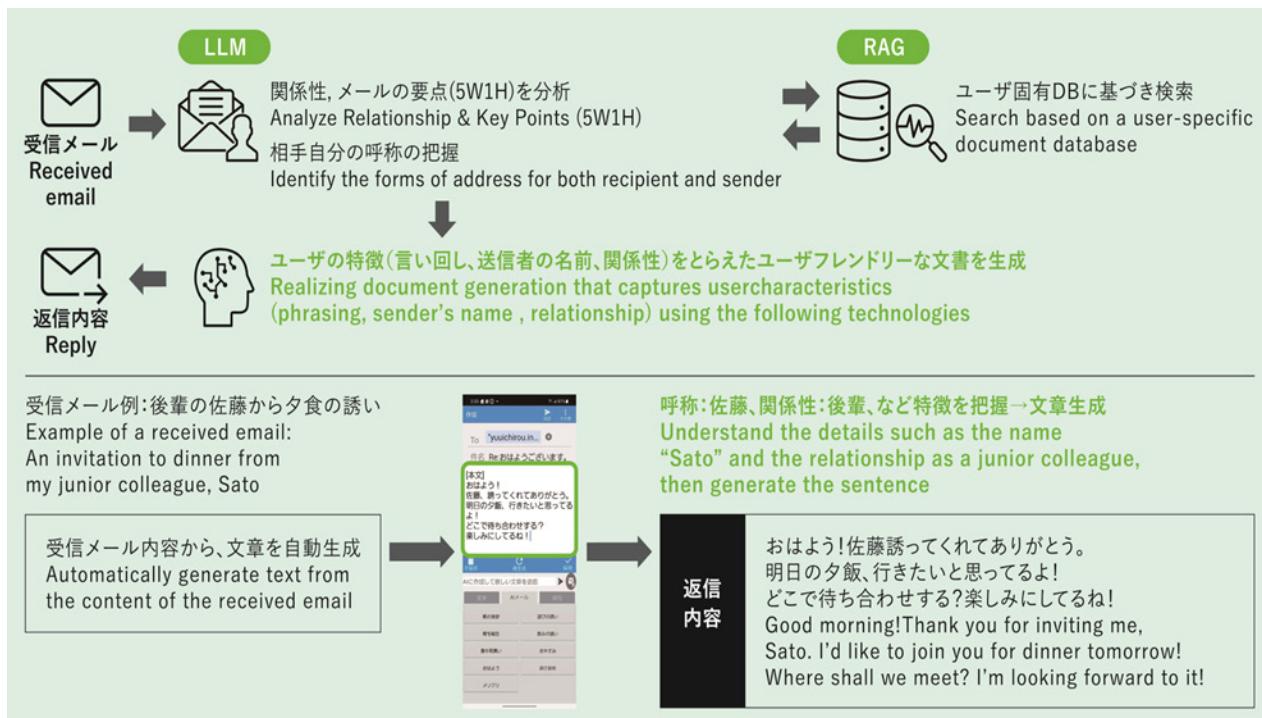


自分らしいメールを作成することで、複雑多様化するコミュニケーションを補助します AIによるメール返信文の作成

背景 - 技術課題

ワークライフバランスや、働き方の多様化なども相まって無駄を避ける傾向が強く、タイムパフォーマンスを重視しがちです。タイムパフォーマンスを重視した結果、人間関係の希薄化、情報の浅さなどのデメリットが生じる可能性を持ち、複雑・多様化する情報社会においては、文字だけでは誤解を招くことが考えられます。



研究目標 - 成果

生成AIを活用することで、タイムパフォーマンスを重視しユーザの特徴を加味したメール生成する技術を開発し、文字による誤解や意思疎通の齟齬の解消に貢献します。

技術ポイント

01 要素技術

独自のシステム構築により、高度なDB検索・日本語特徴の抽出・少ない情報でのパーソナライズ化を実現

02 市中技術差異点

市中技術では、汎用的なメール生成しかできないのに対して、ユーザ特徴が加味されたメール生成が可能であり、事前検証のユーザ満足度が80%を達成

利用シーン コミュニケーションサービス

R&Dフェーズ 開発

技術確立予定期限 FY25-26

ビジネス化予定期限 未定

【出展企業】
株式会社NTTドコモ

【問い合わせ先】
プロダクトマーケティング本部プロダクト技術部

【共同出展社/社外連携先】

【関連Link】